

■「平成23年度四国防災トップセミナー」開催報告

四国の市町村長が一堂に会し、四国において懸念される「津波」や「山津波」への事前・事後対応など災害に備えて、地域防災力の向上を目指す上で何をすべきかを考える「四国防災トップセミナー」を四国の市町村長および国の機関の長、四国4県の防災担当者など総勢300名を超える参加者のもと、平成24年1月31日（火）に高松サンポート合同庁舎において開催しました。

今回のセミナーでは、東日本大震災において甚大な被害を受け陣頭指揮をとられた宮城県名取市の佐々木一十郎市長と、大規模な河道閉塞などの土砂災害のスペシャリストである東京農工大学大学院の石川芳治教授のお二人に講演をいただきました。

佐々木市長は、震災直後の市内の写真を示しながら、初動体制や対応について説明し、地震でデジタル防災行政無線が故障して津波到達を住民に伝えられなかったことに触れ、「大災害時にはモーターで鳴るサイレンやラジオなどローテク機器の情報伝達手段が有効」と振り返り、「職員にはマニュアルに頼らず、ポリシーで動けと指示した」など当時の大変だった様子が生々しく伝えられました。

また、被災者の情報を一元的に収集、管理することの難しさや、調達が困難となった燃料の確保策、各地から集まったボランティアの受け入れなど、被災に備えて検討しておくべき課題が提示されました。

復興に向け、1月下旬に海岸堤防の復旧工事に着手したことが報告されたほか、沿岸部の地盤をかき上げて街をつくる復興構想が紹介され、「住民の命を守る街に建て直したい」とのコメントがありました。

また、石川教授からは、大規模土砂災害に対する対策について、斜面崩壊、地すべり、土石流による災害の違いやそれらのメカニズムを専門的見知から説明いただくとともに、「災害時に山奥では情報が集まらない。特に避難者の情報収集は重要なため、出来るだけ早く情報収集手法の確立を望む。」との提言がありました。

引き続いて行われた意見交換では、発災直後の初動期での対応方法や、事前の備え、復旧・復興に関する方策などについて、活発な意見交換がなされました。

四国地方整備局では、今後とも四国の各自治体の皆様との連携を緊密に図り、地域防災力の向上を目指した取り組みを推進してまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

■「平成23年度四国地方公共工事情質確保推進協議会」開催報告

公共工事情質確保の推進及び発注者支援に寄与することを目的として設立された「四国地方公共工事情質確保推進協議会（11省庁4県95市町村3特殊法人で構成）」の平成23年度協議会を、平成24年1月31日に開催いたしました。

本協議会では、平成23年度の本協議会の活動状況報告（工事検査の臨場、ニューズレターの創刊等）及び、四国管内市町村における公共工事情質確保（総合評価方式、工事成績評定等）の進捗状況につきまして事務局より報告を行いました。

そして、本協議会の平成24年度の実施方針としまして、国と県による市町村キャラバンの実施、総合評価の先進自治体の実施事例紹介などの新たな取り組みも追加し、平成24年度協議会に向けたスケジュール（案）も合わせて決議を頂いたところです。

その後の意見交換では、これまで総合評価方式に積極的に取り組まれている徳島県的那賀町長様、高知県の津野町長様、香川県の東かがわ市副市長様より、具体的な取組事例を発表していただきました。

今後とも、各市町村におかれましては、公共工事情質確保の取り組みにご理解ご協力をお願いいたします。

■「第3回四国の港湾における地震・津波対策検討会議」開催報告

昨年の9月に第1回会議が開催された「四国の港湾における地震・津波対策検討会議」（事務局：四国地方整備局港湾空港部）の3回目の会議が、平成24年2月7日（火）に、かがわ国際会議場において開催されました。

本会議は、逼迫する東海・東南海・南海地震による被害の軽減対策が急がれる四国において、港湾の地震・津波対策に係る検討を産学官の港湾関係者により行い、総合的な基本方針や行動指針を策定することを目的に開催しています。

今回の会議では「四国の港湾における地震・津波対策に関する基本方針（中間とりまとめ）（案）」などを示し、各委員から活発な意見が出されました。基本方針については、大枠において合意されましたが、地震・津波対策の優先順位の考え方や四国の港湾における対策の現状把握の記述を充実させた上で、2月末を目途に策定することとなりました。

また、会議では、今後の検討に向け、課題となる個々のテーマ別に作業部会を設置して具体的な議論や技術的な検討を実施し、最終的には行動指針としての「四国の港湾の防災アクションプログラム（仮称）」を策定することとしています。

詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/project/jisintunami/jisintunami.htm>

■「平成23年度手づくり郷土(ふるさと)賞認定証授与式」報告

「手づくり郷土(ふるさと)賞」は、地域の魅力や個性を創出している、良質な社会資本およびそれと関わりを持つ優れた地域活動を、一体の成果として発掘・評価する国土交通大臣表彰で、表彰することにより、好事例を広く全国に紹介し、個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が進むことを目指しています。

昭和61年度に創設され、26回目の開催となる平成23年度においては、四国から一般部門において、『「水」と「芸術文化」でまちづくりと人づくり』が選定され、認定証授与式を平成24年2月7日(火)に西条市役所において行いました。

国土交通大臣からの認定証及び記念品の楯を、西条市長にご陪席いただき、四国地方整備局長から特定非営利活動法人うちぬき21プロジェクト理事長および事務局長に手渡しました。

引き続き、西条図書館北側中央緑地において、受賞団体主催による、うちぬき石彫お披露目および記念植樹を実施し、受賞を祝福しました。

詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.skr.mlit.go.jp/pres/h23backnum/kikaku/120120/120120-1.pdf>

■「一般国道11号 新居浜バイパス」部分開通予告

松山河川国道事務所で整備を進めている一般国道11号新居浜バイパスのうち、新居浜市本郷1丁目～新居浜市萩生の区間が暫定2車線で開通します。

新居浜バイパスは、一般国道11号の交通混雑を緩和や自転車・歩行者の安全確保を図るとともに、松山自動車道新居浜インターと市街地をアクセスさせることで、新居浜市における交通ネットワークの基盤となる道路として地域経済に大きく寄与することを目的として整備しております。

これまでに新居浜市東田3丁目から新居浜市西喜光地町までの2.4km間が開通しており、今後も未開通の区間については、調査設計、用地買収、工事などを鋭意進めていきます。

開通予定日 平成24年2月25日(土)

開通区間 愛媛県新居浜市本郷1丁目～愛媛県新居浜市萩生

開通延長 L=2.0km

詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/pres/pres2011/pres/120124niihamakaitu.pdf>

■「四国横断自動車道 宇和島北～西予宇和」開通予告

大洲河川国道事務所で整備を進めている四国横断自動車道のうち、宇和島北 IC～西予宇和 IC 間（16.3km）が暫定 2 車線で開通します。

四国横断自動車道は、四国四県の広域的なネットワークはもとより、四国縦貫自動車道、さらには本州四国連絡道路と相まって本州との結びつきを深め、さらには今後想定される「東南海・南海地震」等による自然災害時の代替道路としての役割を担う重要な路線です。

今回開通する宇和島北 IC～西予宇和 IC 間は、平成 15 年 12 月の国土開発幹線自動車道建設会議において決定された新直轄方式により整備された区間であり、松山自動車道と宇和島道路（一般国道 56 号自動車専用道路）に接続することにより、愛媛県南予地域の発展に一層重要な役割を果たすものと期待されています。

開通予定日 平成 24 年 3 月 10 日（土）

開通区間 宇和島北 IC（宇和島市高串）～ 西予宇和 IC（西予市宇和町稲生）

開通延長 L = 16.3 km

詳しくは、下記HPをご覧ください。

http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/kisya/pdf_h24_kisya131.pdf

■「一般国道 33 号 三坂道路」開通予告

松山河川国道事務所で整備を進めている一般国道 33 号三坂道路（自動車専用道路）が全線開通します。

一般国道 33 号のうち、三坂峠を含む区間は、特に線形不良箇所が多く、異常気象における事前通行規制や冬期の積雪・凍結等による通行障害が多発していました。

当事業は、こうした区間を地域高規格道路「高知松山自動車道」の一部として規格の高い自動車専用道路として整備することで、走行時間の短縮や急カーブ区間の回避、防災機能の強化、冬期における積雪・凍結等による通行障害の減少により地元観光施設への交流活性化や地域の救急医療活動の支援が期待されます。

開通予定日 平成 24 年 3 月 17 日（土）

開通区間 愛媛県上浮穴郡久万高原町東明神 ～ 愛媛県松山市久谷町大久保

開通延長 L = 7.6 km

詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/pres/pres2011/pres/120210misakakaitsuu.pdf>

■「平成23年度「新しい公共」活動報告会」開催報告

平成24年1月23日（月）、高松サポート合同庁舎アイホールにおいて、NPO 法人や地方公共団体、金融機関などから約60名が参加し、平成23年度「新しい公共」活動報告会を開催しました。

この活動報告会は、四国内で、地域の課題解決や活性化を目指し先進的、モデル的な活動を行っている NPO 法人等がその取り組みを発表し、その活動を広く情報発信すると共に、参加者間の交流、情報交換等を通じて、「新しい公共」の考え方による地域づくりの活性化等に資する事を目的に開催しました。

四国内から、「むれ源平まちづくり協議会」、「まんのう町社会福祉協議会」、「大平を楽しむ会」、「虹色の里横畠」、「株式会社四万十ドラマ」、「社団法人高知県自治研究センター」の6団体、四国外より、限界集落地における取り組みを行っている「小原 ECO プロジェクト」、コミュニティビジネスに関する活動を行っている「特定非営利活動法人楽笑」の2団体から、それぞれの取り組みが報告され、その後活発な意見交換等が行われました。

参加者からは、「若者の定住者を増やそうと活動しているが、期間を定めて居住して貰うという発想が無かった」、「近い将来、全国で直面する非常に難しい課題に取り組んでいると思う」、「今後この取り組みがどうなるのか、どういう答えを見いだすのか興味がある」といった意見が出されました。

なお、各団体の詳細な活動に関しては、四国地方整備局建政部ホームページ内において掲載を予定しておりますので、そちらをご覧ください。

詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.skr.mlit.go.jp/kensei/koukyou/index.html>

■国営讃岐まんのう公園で「早春フェスタ」開催

今年は1500株のクリスマスローズや2万株のニホンスイセンなど春を待ちきれない花たちが集う“早春の花郷”が園内でお楽しみいただける中、週末を中心に様々なイベントを開催します。

冬の澄んだ空気を吸い込んで森林浴を楽しんだり、“早春の花郷”“をご覧くださいながら楽しいイベントに参加してリフレッシュしてみませんか。

早春フェスタ：平成24年2月11日(土)～平成24年3月4日(日)まで

【イベント】

- ・ 凧づくり教室
- ・ 凧あげ教室
- ・ 竹巻きパンを焼こう！
- ・ ふわふわドラ夢で遊ぼう！
- ・ クリスマスローズフェスタ（講演会、鉢販売、押し花教室など）

詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.mannoukouen.go.jp/event/ennai/kisetu.htm>

■「国営讃岐まんのう公園しこく88kmリレーマラソン」開催予定

平成24年4月22日(日)に「国営讃岐まんのう公園しこく88kmリレーマラソン」を開催します。1月に例年開催しているリレーマラソンとひと味違うレースが味わえますので是非参加いただいて心地よい汗を流してみたいかがですか。

また、熱いレース展開を見守ったり、応援いただける方のご来園もお待ちしております。

詳しくは、下記HPをご覧ください。

<http://www.fieldbrain.com/02malathon/sanuki88km/sanuki88-gai.htm>

<http://www.mannoukouen.go.jp/cms/wp-content/uploads/2012/01/img146.pdf>